

平成30年度 月影保育園 施設の自己評価について

保育課程、年間計画、月計画、目標、基本方針など、子どもの発達状況に合わせ、異学年でも照らし合わせて作成している。今後も、日々実践しながら、さらに見返し、子どもの実態に沿って、職員会議等において全職員で確認、修正していく。

毎月の計画作成は、まず前月の反省をして、それを踏まえて次月の計画作りをすることが定着しつつあるので、さらに活動の目的を確認しつつ、中身の濃いものにしていくよう努力する。

お散歩で見つける季節ごとの動植物や、地域の人たちとのふれ合い、畑や花壇での野菜作り、沢ガニ取り、魚のつかみ取りと竹串に指しての塩焼きなど、他の園にない本園ならではの活動が定着してきている。これらは、さらに継続し充実させていきたい。

保育室は、手作りの暖かさと、動きのある物を工夫し、子どもがやりたいことが見つかる部屋にできている。意図的に環境を変化させて、子供の意欲を刺激することも必要である。また、不必要なものは置かないよう安全面にも留意する。

屋外の、砂場や遊具は、引き続き安全面と衛生面の両面から常にチェックしていく。不備を見つけたら、すぐに報告、連絡し、素早く対応することを忘れないようにする。

保育者の子どもにかける言葉、表情や、保護者への対応など、お互いに注意し合って、明るく、正しく、美しく、温かいものにしていく。保育者の何気ない一言、不用意な一言が、子どもや保護者にはきつく感じることもあるので、普段から言葉掛けには気をつけていく。

職員会議で毎月、行事や活動について反省評価をして行く成果が、次の活動に生きてきている。

行事や活動は「目標」を明確にしてきているが、それが達成できたかどうかの確かめが、まだ不完全である。やりっ放しの行事や活動にならないよう注意しながら取り組んでいきたい。

身体測定、おつとめ、誕生日会、避難訓練等は、毎月行うものなので、子供をしっかりと見つめ、何かあったらすぐに話し合い、改善していくようにする。子どもの成長を見取る良い場として、児童把握に有効に生かしていく。また誕生日会は、月行事として全児童で行うものから、各クラスで行いものに変えて行く。その子の誕生日当日にクラスのみみんなで祝うものに変更する。

職員会議で話し合われている子供の表れを、全職員で共有し有効に指導していく。

防犯カメラが設置されたが、安全はカメラが守るのではなく、人の目が守ることを忘れず、常に安全には全職員で目を光らせて行く。

保護者懇談会は、今後も保護者との子育て観の共有に活用していく。送迎時の会話も、大切な支援の場なので、時間の制約はあるかもしれないが、しっかり子どもについて情報を共有していくよう努める。

以上の事を、職員で自己評価しました。これを生かして、さらに質の高い保育を目指していきます。